

一般会計

質問 個人市民税収入の増額理由は。

答弁 米、主要農作物の単価が好調だったことと、求人倍率や民間給与の実態調査の動向も良好であることから、前年度比約八・三%の増を見込みました。

質問 市民の家使用料収入の減額理由は。

答弁 利用人数の減と、使用料が低い六十歳以上の市民の利用がふえているため減を見込みました。

質問 地域公共交通網形成計画策定事業の内容は。

答弁 既存のバス路線の再編や新たな交通手段の検討も含め、多様な交通手段を機能的に組み合わせ、交通ネットワークを構築するものです。他自治体の事例も参考に、利用される持続可能な交通体系を目指し検討

します。
平成二十九年度に計画を策定し、平成三十年から事業を実施したいと考えています。

質問 高齢者運転免許自主返納支援事業の内容は。

答弁 平成二十九年四月一日以降に自主返納した六十五歳以上の方を対象に、一万円分のバス・タクシーチケット等を一回限り交付します。

質問 ひとり親家庭等自立支援事業で資格を得た場合は、当市で就職しなければならぬのか。

答弁 資格取得を目的としていきますので、就職先の条件はありません。また、養成機関を途中でやめた場合の返金もありません。

質問 妊娠期からの切れ目のない子育て支援事業の内容は。

答弁 新規事業として、①助産師による家庭訪問

等により相談しやすい環境を築き虐待予防につなげる「安心子育てサポート事業」、②周産期母子医療センターに入院する乳児に面会する母親のための交通費、宿泊費を助成する「ハイリスク妊産婦アクセス支援事業」、③健診や予防接種などの子育てに必要な行政サービスを提供する「子育て情報配信システム」があります。

質問 六次産業化支援事業の農産物等の加工拠点となる施設とは。

答弁 団体または個人が農産物の加工をするための煮沸釜、フライヤー、乾燥機等を導入し、加工製品を作る施設を整備する予定です。

質問 DMO構想推進支援業務の内容は。

答弁 観光客をふやす取り組み体制の構築のため、専門的なノウハウをもった方を招きサポートしてもらい、日本版DMOの組織化に向け調査、研究等を行います。

策事業のWi-Fi無料貸与の方法は。

答弁 焼山の溪流館やホテルにて無料で貸し出します。また、観光客がどの程度情報発信しているのかの調査も兼ねています。

質問 災害用備蓄物資購入費用を増額した経緯とアレルギー対応食品の品目は。

答弁 県の調査結果では避難想定が三倍強となったことから、防災計画を見直し、被害想定を一千人から三千人にふやしたためです。アレルギー対応食品としてクッキーや乳児用ミルクを考えています。

質問 相撲場上屋根解体工事の内容とスケジュールは。

答弁 土俵と観客席を保護するため鉄板を敷き詰め、屋根が落下しないよう支えた上で剥ぎ取り解体します。四月に解体設計、七月に屋根を解体撤去し、八月には例年どおり相撲大会を開催します。九月以降に工事を再開し、十月

特別会計

（国民健康保険事業）
質問 国民健康保険制度関連準備費補助金の内容は。

答弁 平成三十年度から財政運営主体が市町村から県へ移行することから、データ連携等のシステム改修費です。

（後期高齢者医療）

質問 後期高齢者医療保険事業の二事業の内容は。

答弁 健康異常値放置者受診勧奨事業は、健診結果に異常値があるがその後受診していない場合の受診勧奨をします。受診行動適正化指導事業は、重複・頻回受診者を訪問指導します。

企業会計

（水道事業）

質問 今後、水道料金上がる可能性は。

答弁 水道事業を中長期的にシミュレーションしたところ、現在の計画

でも今後十年間は水道料金を値上げする必要はないと結果が出ています。

質問 浄化槽整備が進まない原因は。

答弁 少子高齢化と都市への人口移動で、浄化槽整備区域である農村集落で住宅の新築、改築が伸び悩んでおり、また経済的理由で設置を望まない世帯もいることが原因とと考えています。

（病院事業）

質問 入院患者数が増加し、外来患者数が減少した理由は。

答弁 平成二十九年度に常勤医師が五名増加することから、急性期医療と救急患者の受け入れが充実することを見込み、入院患者数を増加しました。外来患者数の減少は、民間の医療機関と連携し入院中心の医療を進める考えからです。

質問 医師住宅を建てかえる計画はあるか。

答弁 平成二十九年度に、建てかえ及び土地の有効活用の計画を立てたかと考えています。

予算審査特別委員会 質疑応答

質問 インバウンド対